

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (1/7)

認定番号: 0145-1110, サービス名称: FM for Dynamics, 事業者名称: 住友セメントシステム開発株式会社

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
1	開示情報の時点	開示情報の日付	開示情報の年月日(西暦)	必須 2017/8/31
- 事業所・事業				
2	事業所等の概要	事業者名	事業者の正式名称(商号)	必須 住友セメントシステム開発株式会社
3		設立年・事業年数	事業者の設立年(西暦)	必須 1988年
			設立後の事業年数(1年に満たない場合は月数)	必須 28年
4		事業所	事業者の本店住所・郵便番号	必須 東京都港区芝大門1-1-30 芝NBFタワー 3F(〒105-0012)
	事業所数(国内、国外)		必須 国内:6か所、国外:1か所	
	主な事業所の所在地		必須 東京都(1か所)、大阪府(1か所)、愛知県(1か所)、北海道(1か所)、福岡県(1か所)、宮城県(1か所)、中国 大連市(1か所)	
5	事業の概要	主な事業の概要	事業者の主要な事業の概要(ASP・SaaS以外も含む) <100字以内で記述>	必須 システム開発&ソリューションサービス、各種業務用パッケージの開発・販売、ビジネス向けクラウドサービス、スマートデバイス向けソリューションサービス、BPOサービス
- 人材				
6	経営者	代表者	代表者氏名	必須 大塚 千明
			代表者写真	選択 記述有り(*)
			代表者年齢	選択 記述有り(*)
			代表者経歴(学歴、業務履歴、資格等)	選択 記述無し(*)
7	役員	役員数	選択 記述有り(*)	
		役員氏名及び役職名	選択 記述有り(*)	
8	従業員	従業員数	正社員数(単独ベース)	選択 記述有り(*)
- 財務状況				
9	財務データ	売上高	事業者全体の売上高(単独ベース)(単位:円)	必須 ¥2,127,298,000(済報告期間”平成28年4月1日～平成29年3月31日”)
10		経常利益	事業者全体の経常利益額(単独ベース)(単位:円)	選択 記述有り(*)
11		資本金	事業者全体の資本金(単独ベース)(単位:円)	必須 ¥100,000,000
12		自己資本比率	事業者全体の自己資本の比率(単独ベース)(単位:%)	選択 記述有り(*)
13		キャッシュフロー対有利子負債比率	事業者全体のキャッシュフロー対有利子負債比率(単独ベース)(単位:%)	選択 記述有り(*)
14		インタレスト・カバレッジ・レシオ	事業者全体のインタレスト・カバレッジ・レシオ(単独ベース)(単位:%)	選択 記述有り(*)
15		上場の有無	株式上場の有無と、上場の場合は市場名	選択 記述有り(*)

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

(*) 選択開示項目は、申請事業者による申請内容の記述の有無により、認定機関で「記述有り/無し」と編集しています。

※本資料は特定非営利活動法人ASP・SaaS・IoT クラウド コンソーシアムから公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (2/7)

認定番号: 0145-1110, サービス名称: FM for Dynamics, 事業者名称: 住友セメントシステム開発株式会社

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
16	財務信頼性	財務監査・財務データの状況	選択	記述有り(*)
17		決算公告	選択	記述有り(*)
- 資本関係・取引関係				
18	資本関係	株主構成	選択	記述有り(*)
19	取引関係	大口取引先	選択	記述無し(*)
20		主要取引金融機関	選択	記述有り(*)
21		所属団体	選択	記述有り(*)
- コンプライアンス				
22	組織体制	コンプライアンス担当役員	選択	記述有り(*)
23		専担の部署・会議体	選択	記述有り(*)
24	書類類	情報セキュリティに関する規程等の整備	必須○	情報漏洩を未然に防ぐ従業員の行動指針 個人データ及び個人情報管理規程 プライバシーポリシー ISMS管理規程 ISMSマニュアル
				上記の書類の経営陣による承認の有無
25		勧誘・販売に関する規程等の整備	選択	記述無し(*)
				上記の書類の経営陣による承認の有無
26		ASP・SaaSの苦情対応に関する規程等の整備	必須	無
				上記の書類の経営陣による承認の有無
- サービス基本特性				
27		サービス名称	必須	FM for Dynamics
28		サービス開始時期	必須	2009年6月1日
				有 2010年4月1日 2012年4月1日 2016年8月1日
29		サービスの基本タイプ	必須	アプリケーションサービス

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

(*) 選択開示項目は、申請事業者による申請内容の記述の有無により、認定機関で「記述有り/無し」と編集しています。

※本資料は特定非営利活動法人ASP・SaaS・IoTクラウドコンソーシアムから公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (3/7)

認定番号: 0145-1110, サービス名称: FM for Dynamics, 事業者名称: 住友セメントシステム開発株式会社

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
30	サービス内容	サービスの内容・範囲	必須	<p>施設のさまざまな情報を台帳として管理し、施設の利用者、オーナーの満足度向上のために、メンテナンス情報を蓄積し、共有・分析等に活用するためのクラウドサービスです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●BM(ビルマネジメント)サービス <ul style="list-style-type: none"> ・法定点検をはじめとした定期点検の計画から実施及び、突発的に発生する点検の作業履歴を蓄積します。 ・対象設備の台帳がある場合は、設備機器と作業履歴が紐付けられ、設備機器単体での履歴管理としても活用できます。 ・現場支援のタブレット機能により、紙で管理されていた点検作業情報も、クラウド上で一元管理できます。 ・修繕周期と修繕実績を、設備機器の保全計画シミュレーション機能により、投資平準化の判断材料として活用できます。 ●EM(エネルギーマネジメント)サービス <ul style="list-style-type: none"> ・入力あるいは取り込まれた検針データから改正省エネ法に基づいた報告書を自動作成します。 ・エネルギーデータを扱う、温対法および東京都の環境確保条例をはじめとして、神奈川県、埼玉県の条例にも対応しています。 ●ドキュメント管理サービス <ul style="list-style-type: none"> ・図面及び関連書類を管理します。 ・管理項目は、任意に設定可能です。
		他の事業者との間でサービス連携を行っていることの有無と、ある場合はその内容 <前記述と合わせて500字以内で記述>	無	
31	サービスのカスタマイズ範囲	アプリケーションのカスタマイズの範囲(契約内容に依存する場合はその旨記述) <200字以内で記述>	必須	管理項目の一覧表示形式など、顧客がカスタマイズすることが可能 出力帳票をカスタマイズすることが可能 基本的に個別相談にて応じてカスタマイズ範囲を決めます。
32	サービス(事業)変更・終了時の事前告知	利用者への告知時期(事前の告知時期を1ヶ月前、3ヶ月前、6ヶ月前、12ヶ月前等の単位で記述)	必須○	3ヶ月前
		告知方法		電子メール等
33	サービスの變更・終了	対応・代替措置の基本方針の有無と、基本方針がある場合はその概略	必須	有: CSV またはExcel ファイルで提供
		基本方針に沿った具体的なユーザへの対応策(代替サービスの紹介等)の有無と、対応策がある場合はその概略		無
		契約終了時の情報資産(ユーザデータ等)の返却責任の有無		無 返却を希望される場合は、有償で対応
34	サービス(事業)変更・終了に係る問合せ先	問合せ先(通常の苦情等の問合せ窓口も含む)の有無と、問合せ先がある場合は名称・受付時間	必須○	有 システムFMソリューションサポートセンター 弊社営業日9:00~12:00 13:00~17:00 土・日・祝日・年末年始・夏期休暇を除く
35	課金方法	従量部分の課金方法	必須	契約建物数が1~99建物の場合は、1建物あたりの月額利用額を契約建物数で乗じた金額を課金(但し、契約建物数により、1建物あたりの月額利用額は変動)
		固定部分の課金方法		契約建物数が100建物以上の場合は、月額月額利用額を課金(但し、契約建物数により、月額月額利用額は変動)
36	サービス料金	初期費用額	必須	初期導入費用: 35万円~
		月額利用額		価格表による(契約サービス、建物数、ユーザ数により変動)
		最低利用契約期間		6ヶ月
37	解約時ペナルティ	解約時違約金(ユーザ側)の有無と、違約金がある場合はその額	必須	無
38	利用者からの解約事前受付期限	利用者からのサービス解約の受付期限の有無と、有りの場合はその期限(何日・何ヶ月前かを記述)	必須	無

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

(*) 選択開示項目は、申請事業者による申請内容の記述の有無により、認定機関で「記述有り/無し」と編集しています。

※本資料は特定非営利活動法人ASP・SaaS・IoT クラウド コンソーシアムから公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (4/7)

認定番号: 0145-1110, サービス名称: FM for Dynamics, 事業者名称: 住友セメントシステム開発株式会社

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
39	サービス稼働設定値	サービス稼働率のこれまでの実績値、またはやむなき理由により実績値が記載できない場合はその理由と目標値	必須	対象期間: 2016/4/1～2017/3/31 99.82%(実績値)
		申請したサービスが該当する「情報セキュリティ対策ガイドライン」におけるサービス種別のパターン番号と稼働率の対策参照値		パターン2: 稼働率の対策参照値99%以上
		サービス停止の事故歴		対象期間: 2016/4/1～2017/3/31 2016/4/1～2017/3/31で2件
40	サービスパフォーマンスの管理	機器、ソフトウェア等のシステム障害によるサービス応答速度の低下等の検知方法 (検知の場所、検知のインターバル、画面の表示チェック等の検知方法)	選択	記述有り(*)
		サービス応答速度等のサービスパフォーマンスの正常性の把握方法 (検知の場所、検知のインターバル、画面の表示チェック等の把握方法)		記述有り(*)
41	サービスパフォーマンスの増強	ネットワーク・機器等の増強判断基準あるいは計画の有無、判断基準や計画がある場合は増強の技術的措置(負荷分散対策、ネットワークルーティング、圧縮等)の概要	選択	記述有り(*)
42	認証取得・監査実施	プライバシーマーク、ISMS(JIS Q 27001など)、ITSMS(JIS Q 27001など)の取得、18号監査(米ではSAS70)の監査報告書作成の有無、上記がある場合は認証名あるいは監査の名称	選択	記述有り(*)
43	個人情報の取扱い	個人情報を収集する際の利用目的の明示	必須	事業者側に蓄積する利用者の個人情報は、このサービス内での用途(顧客管理/ログイン設定)でしか利用しないことを利用申請書に記載して確認しております。
44	脆弱性診断	診断の対象(アプリケーション、OS、ハードウェア等)	選択	記述有り(*)
		診断の頻度、診断の結果から対策が必要となった部分に対する対応状況(対象ごとに)		記述有り(*)
45	バックアップ対策	バックアップ実施インターバル	必須	・データベースは、ミラーリングにより逐次バックアップ ・1日1回データベースをバックアップサーバにバックアップ実施
		世代バックアップ(何世代前までかを記述)	必須	3世代
46	バックアップ管理	バックアップ確認のインターバル	選択	記述無し(*)
47	受賞・表彰歴	ASP・SaaSに関連する各種アワード等の受賞歴	選択	記述有り(*)
48	SLA(サービスレベル・アグリーメント)	本審査基準に含まれる開示項目がSLAとして契約書に添付されるか否か	必須	添付しない 顧客から依頼があった場合のみ提示
49	サービス利用量	利用者数 申請したASP・SaaSのサービスの利用者ライセンス数 (同時接続ユーザ数か、実ユーザ数かも明示)	選択	記述有り(*)
50	代理店数	申請したASP・SaaSのサービスの取扱い代理店数	選択	記述無し(*)

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

(*) 選択開示項目は、申請事業者による申請内容の記述の有無により、認定機関で「記述有り/無し」と編集しています。

※本資料は特定非営利活動法人ASP・SaaS・IoTクラウドコンソーシアムから公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (5/7)

認定番号: 0145-1110, サービス名称: FM for Dynamics, 事業者名称: 住友セメントシステム開発株式会社

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
- アプリケーション、プラットフォーム、サーバ・ストレージ等				
51	内容	サービスを実現する主要ソフトウェア	必須	Microsoft Dynamics CRM 2016
		主要ソフトウェアの概要 <200字以内で記述>	必須	Microsoft Dynamics CRM は、実績のある業界標準の Microsoft テクノロジーをベースに開発されています。ビジネス ニーズに合わせた柔軟なカスタマイズ、堅牢なセキュリティ制御、他システムとの連携やデータ移行、ユーザー数の拡大やビジネス成長に合わせたシステム拡張など、多様なシステム要件を満たす高いテクノロジー プラットフォームを提供します。
52		主要ソフトウェアの提供事業者	必須	マイクロソフト株式会社
53	連携・拡張性	他システム等との連携方法	選択	記述有り(＊)
		標準的でないAPI等を他システム等連携のために使用している場合、そのAPI等の公表の可否	選択	記述有り(＊)
54	セキュリティ	死活監視(ソフトウェア、機器)	必須○	全機器: 5分
		障害時の利用者への通知時間	必須○	営業時間内: 2H 営業時間外: 12H
55		障害監視(ソフトウェア、機器)	必須	有
56		時刻同期	必須	NTPサーバーより時刻を取得
57		ウイルスチェック	必須○	ウイルスチェック: 有り パターンファイル更新間隔: 随時
58		記録(ログ等)	必須○	有 保存期間: 基本3ヶ月
59		セキュリティパッチ管理	必須○	Windowsupdate: 1ヶ月 SQL Serverパッチ: 6ヶ月 但し緊急性がある場合は、随時
- ネットワーク				
60	回線	推奨回線	必須	インターネット回線
		ユーザ接続回線について、ASP・SaaS事業者が負う責任範囲	必須	利用者側のユーザ回線に関しては、ユーザーとこれを提供するプロバイダーが責任を負う。
61		推奨帯域	必須	10MB以上
62		推奨端末	必須	・Windows 10 Pro ・Windows 8.1 pro ・Windows 8.1 ・Windows 7
		利用するブラウザの種類	必須	Internet Explorer 11、Chrome、Microsoft Edge
63		ファイアウォール設置等	必須○	有
64		不正侵入検知	必須	有
65		ネットワーク監視	選択	記述有り(＊)

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

(＊) 選択開示項目は、申請事業者による申請内容の記述の有無により、認定機関で「記述有り/無し」と編集しています。

※本資料は特定非営利活動法人ASP・SaaS・IoT クラウド コンソーシアムから公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (6/7)

認定番号: 0145-1110, サービス名称: FM for Dynamics, 事業者名称: 住友セメントシステム開発株式会社

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
66	セキュリティ	ID・パスワードの運用管理	IDやパスワードの運用管理方法の規程の有無	必須○ 有
67		ユーザ認証	ユーザ(利用者)のアクセスを管理するための認証方法、特定の場所及び装置からの接続を認証する方法等	必須○ AD認証 ID・パスワードによる認証
68		管理者認証	サーバ運用側(サービス提供側)の管理者権限の登録・登録削除の正式な手順の有無	必須○ サーバ管理者権限運用規程及び手順有
69		なりすまし対策(事業者サイド)	第三者による自社を装ったなりすましに関する対策の実施の有無と、対策がある場合は認証の方法	必須 サーバ証明書の発行
70		その他セキュリティ対策	その他特筆すべきセキュリティ対策を記述(情報漏洩対策、データの暗号化等)	選択 記述有り(*)
- ハウジング(サーバ設置場所)				
71	施設建築物	建物形態	データセンター専用建物か否か	必須 NTTコミュニケーションズ Enterprise Cloudを契約
72		所在地	国名、(日本の場合は地域ブロック名(例:関東、東北))	必須 NTTコミュニケーションズ Enterprise Cloudを契約
73		耐震・免震構造	耐震数値	必須 NTTコミュニケーションズ Enterprise Cloudを契約
	免震構造や制震構造の有無		必須 NTTコミュニケーションズ Enterprise Cloudを契約	
74	非常用電源設備	無停電電源	無停電電源装置(UPS)の有無と、UPSがある場合は電力供給時間	必須 NTTコミュニケーションズ Enterprise Cloudを契約
75		給電ルート	別の変電所を経由した給電ルート(系統)で2ルート以上が確保されているか否か(自家発電機、UPSを除く)	必須 NTTコミュニケーションズ Enterprise Cloudを契約
76		非常用電源	非常用電源(自家発電機)の有無と、非常用電源がある場合は連続稼働時間の数値	必須 NTTコミュニケーションズ Enterprise Cloudを契約
77	消火設備	サーバールーム内消火設備	自動消火設備の有無と、ある場合はガス系消火設備か否か	必須 NTTコミュニケーションズ Enterprise Cloudを契約
78		火災感知・報知システム	火災検知システムの有無	必須 NTTコミュニケーションズ Enterprise Cloudを契約
79	避雷対策設備	直撃雷対策	直撃雷対策の有無	必須 NTTコミュニケーションズ Enterprise Cloudを契約
80		誘導雷対策	誘導雷対策の有無と、対策がある場合は最大対応電圧の数値	必須 NTTコミュニケーションズ Enterprise Cloudを契約
81	空調設備	十分な空調設備	空調設備(床吹き上げ空調、コンピュータ専用個別空調等)の内容	選択 記述有り(*)
82	セキュリティ	入退館管理等	入退室記録の有無と、入退室記録がある場合はその保存期間	必須 NTTコミュニケーションズ Enterprise Cloudを契約
			監視カメラの有無と、カメラがある場合は監視カメラ稼働時間、監視カメラの監視範囲、映像の保存期間	
			個人認証システムの有無	
83	メディアの保管	紙、磁気テープ、光メディア等の媒体の保管のための鍵付きキャビネットの有無	必須 NTTコミュニケーションズ Enterprise Cloudを契約	
		保管管理手順書の有無		NTTコミュニケーションズ Enterprise Cloudを契約
84	その他セキュリティ対策	その他特筆すべきセキュリティ対策を記述(破壊侵入防止対策、防犯監視対策等)	選択 記述有り(*)	

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

(*) 選択開示項目は、申請事業者による申請内容の記述の有無により、認定機関で「記述有り/無し」と編集しています。

※本資料は特定非営利活動法人ASP・SaaS・IoT クラウド コンソーシアムから公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。

ASP・SaaS安全・信頼性に係る情報開示認定制度 認定サービスの申請内容 (7/7)

認定番号: 0145-1110, サービス名称: FM for Dynamics, 事業者名称: 住友セメントシステム開発株式会社

【審査対象項目】		【記述内容】	必須/選択	申請内容
- サービスサポート				
85	連絡先	申請者の電話/FAX、Web、電子メール等の連絡先	必須○	住友セメントシステム開発株式会社 スミテムFMソリューションサポートセンター TEL:03-5733-2413 MAIL:fm_support@sumitem.co.jp
		代理店連絡先の有無と、ある場合は代理店名称、代理店の本店の所在地と連絡先		無
86	営業日・時間	営業曜日、営業時間(受付時間)	必須	月曜日～金曜日(但し、弊社休業日を除く) サポート受付時間:9:00～12:00、13:00～17:00
		メンテナンス実施時間		毎週水曜日12:00～13:00 祝日の場合は、木曜日12:00～13:00
87	サポート対応	サービスサポートの稼働率の実績値(単位:%)	選択	記述有り(*)
		放棄率の実績値(単位:%)		記述有り(*)
		応答時間遵守率の実績値(単位:%)		記述有り(*)
		基準時間完了率の実績値(単位:%)		記述有り(*)
88	サポート範囲・手段	サポート範囲	必須	・サービス利用/操作方法 ・障害時のトラブル対応
		サポート手段(電話、電子メールの返信等)		電話、電子メール
89	サービスダウンしない仕組み	サービスが停止しない仕組み(冗長化、負荷分散等)	必須	Webサーバ、アプリケーションサーバ、データベースサーバの冗長化 Webサーバ、アプリケーションサーバの負荷分散
90	サービス保証・継続	事故発生時の責任と補償範囲	必須	有 FM_for_Dynamics_SaaS利用契約約款
91	メンテナンス等の一時的サービス停止時の事前告知	利用者への告知時期 (1か月前、3か月前、6か月前、12か月前等の単位で記述)	必須○	2週間前
		告知方法		電子メール及びサービスストップ画面への掲載
		記述よりも短い告知時期での緊急メンテナンスの有無		有
92	障害・災害発生時の通知	障害発生時通知の有無	必須○	有
93	定期報告	利用者への定期報告の有無 (アプリケーション、サーバ、プラットフォーム、その他機器の監視結果、サービス稼働率、SLAの実施結果等)	必須	有(定期報告オプション契約を頂いた場合のみ)

(注) 必須/選択欄の「必須○」とは、一定の水準を考慮すべき必須開示項目となります。

(*) 選択開示項目は、申請事業者による申請内容の記述の有無により、認定機関で「記述有り/無し」と編集しています。

※本資料は特定非営利活動法人ASP・SaaS・IoTクラウドコンソーシアムから公開しております。本資料及び記載情報の転載、複製はご遠慮願います。